

広報

こおり

10

Oct. 2019

vol.598

時を越えて、
歴史と出会う

〔桑折西山城復元祭〕



献上桃の郷。
桑折町
こおりまち



復元祭実行委員長
吉田 良典さん

2日間共に最高の天気に恵まれ、遠くは京都や神奈川から足を運んでいただき、うれしく思っています。これだけ多くの方に伊達家をしのんでいただけて、大変ありがたい思いでいっぱいです。準備期間が短い中での催しで、反省点もありますが、まずはひとつの形になり、安心しています。

復元祭では多くのイベントがありましたが、特に「月見の宴」では、700年ほど前にも、こうして城から月を眺めて過ごしていた人があるのだなと心に深く感じ、しみじみとした気持ちになりました。まるでお月様も「素晴らしい場所で行っているね」とこちらをうらやましく見ているかのような、最高の月夜でした。

2年後の全国山城サミット誘致に向けて、先進地へ足を運び、アイデアを深めていきたいです。

当時へ思いをはせて、しみじみした気持ちに



3 戦国時代に花開いたと言われる茶道。標高193メートルの見晴らしの良い歴史的な舞台で、当時を想像しながらお点前を堪能する来場者 4 町内菓子組合がイベントのために考案した「戦国まんじゅう」。どこか懐かしい味わいに、心もおなかも満たされる

秋の風情感じる「茶会」

季節を感じられる栗の和菓子と抹茶がもてなされ、ゆったりとしたひとときを過ごす



裏千家安細宗朋社中
安細 宗朋さん（朋子さん）
Anzai Souhou

貴重な町の財産である西山城跡を整備し、町全体で盛り上げていこうということで、わたしも少しでもお手伝いできればと思い参加しました。とても眺めの良い山頂でお点前する機会をいただき、ありがたく思っています。この貴重な資源を今後も生かしていきたいですね。

総勢300人に 城跡を案内

半澤 章さん
桑折町歴史案内人



2日目の「歴史散歩」で案内人をしました。想像より多くの人に参加いただき感謝しています。来年は少人数班編成にするなどさらに分かりやすい内容となるよう反省を生かしていきたいです。

改めて町の歴史 に触れる

吉田 悦子さん
町内から参加



近くに住んでいるのにちゃんと歴史を知らなかったな…と思い参加。昔よくここで遊んでいましたが、見晴らしが開けてびっくりしました。月見の宴ではきれいな満月と夜景に感動しました。

INTERVIEW

楽しみ方は十人十色 復元祭の醍醐味は—

講演会や歴史散歩、月見の宴など、さまざまなプログラムが目白押しだった復元祭。イベントで印象に残っていることを聞きました。

歴史研究仲間に 伝えたい

安田 義昭さん
福島市から参加



福島市のまちづくり歴史研究会に所属しています。桑折西山城の話は聞いていましたが「こんなに立派な城跡だったとは」と驚きました。講演いただいたことを仲間のみんなに伝えて広めたいです。



5 ずっしりした重みのある本物の甲冑を着て武将気分になれる体験コーナーも好評



今よみがえる、桑折西山城復元祭

築
1532年
城

伊達氏が歩んだ歴史をたどる

戦国時代、東北地方最大の大名伊達氏の本拠地であった桑折西山城。復元整備が進み、城の中核部の空間が姿を現したいま、当時の出来事に思いをはせる「桑折西山城復元祭」が開かれた。

ホ——ッ、さわやかな秋空が広がった9月14日、15日、桑折西山城跡に法螺が鳴り響き、復元祭が幕を開けました。戦国時代、東北地方最大の大名伊達氏の本拠地であった桑折西山城。後に、「独眼竜」伊達政宗につながる歴史的舞台とあり、伊達家につながる深い仙台市や米沢市をはじめ、全国各地から約820人の歴史ファンが集まりました。

中秋の名月を望みながら、当時使われていた「かわらけ」で日本酒を酌み交わす、月見の宴。お囃子や鈴虫の音色に包まれながら、風流なひとときを過ごしました。ほかに、当時を体感できる野点や甲冑体験、戦国市も開催。来場者は「戦国時代にタイムスリップしたみたい」と、非日常感を楽しめました。

1 より多くの人に楽しんでもらおうと、町が樹木を伐採し、眺望が改善した桑折西山城跡 2 昔から城跡が大切に守られてきたことを示す「高館城址碑」





8

8裏千家による野点（のだて）。心を込めて茶をたてる。自然の中での一服は、日本の伝統文化である茶の湯の魅力を伝える 9戦国時代に花開いた茶道でおもてなしをした「戦国茶の湯会」。伊達地方を一望しながらお茶を楽しむ 10本物の甲冑を身に付ける体験コーナー。甲冑の重さに驚く体験者。その後、武士になりきり、カメラのフラッシュを浴びた



9

1絶景を舞台に、まるで天空で開催されているかのような歴史トーク 2陣羽織を身にまとい、オープニングステージであいさつする関係者



1



2

CAMERA GRAPH【桑折西山城復元祭】

カメラ グラフ

戦国山城を舞台に、2日間にわたり開催された「桑折西山城復元祭」についてレポートします。

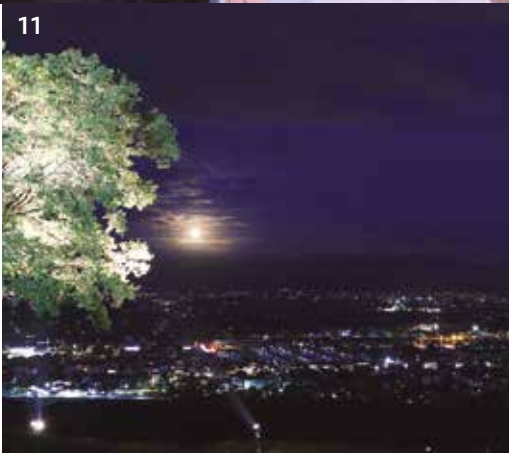


10



6

11西山城整備に伴い伊達地方を一望できる眺望へと変わった西山城跡。この日は満月がお出迎えし、来場者全員がローケーションの素晴らしさに感動した



11



7



5



3

32日目に行われた歴史散歩には、多くの人が県内外から訪れた。遠くは京都や徳島などからも。参加者は桑折町の歴史に対する理解を深めた 4ステージでは桐ヶ窪太鼓保存会の勇壮な和太鼓演奏が祭りを盛り上げた 5戦国時代さながらの素焼きの土器（かわらけ）で酒を酌み交わ

す 6月見の宴では、満月を愛でながら、桑折町の歴史について語り合った 7戦国武将伊達政宗の曾祖父で、伊達氏14代当主の植宗が本城として築いた国指定史跡「桑折西山城」跡。その城跡の平面復元完成に伴いライトアップによる幻想的な雰囲気演出



4

桑折町暮らし農業体験

「気付き」のススメ

この夏、町で初めて「桑折町暮らし体験事業」が行われました。
 参加者は、町外に住む大学生。
 よそから来た若者の目に、桑折町はどのように映ったのでしょうか。
 彼らの声をヒントに、町の魅力や可能性を探ります。

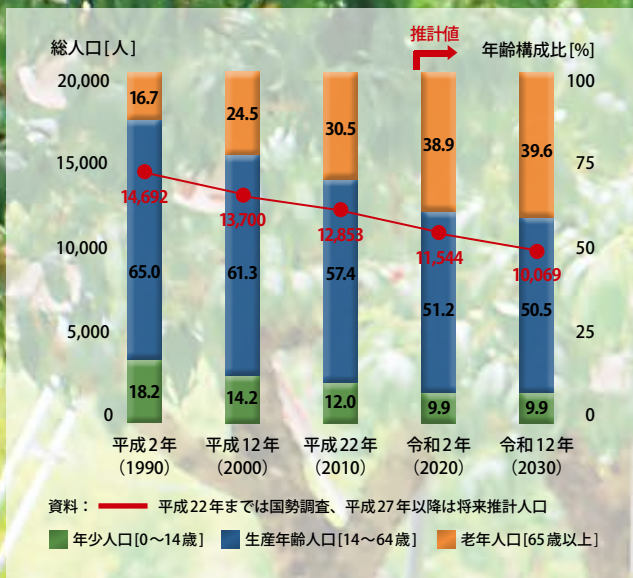


桑 折町の人口は、現在11,772人。少子高齢化が進み、人口減少の一途をたどっています。また、若い世代が学校卒業後に、働き口を求めて転出してしまいうケースが多いという現状もあります（図1参照）。

そこで、町では、新婚世帯の家賃補助や町外の勤務地までの交通費助成、子育てにかかる費用の一部助成など、若い人が桑折町で住みやすくなるためのさまざまな支援を行っています。さらに、今回の試みとして、田舎暮らしに興味がある大学生を対象に、8月22日から27日までの5泊6日で「桑折町暮らし体験事業」を実施しました。

町の基幹産業である農業をメインに、生産と販売の現場を体験するほか、地域住民と交流するイベントの準備・運営などにも参加し、桑折暮らしを体感しました。

図1. 桑折町の人口動向と将来推計



平成6年から26年連続で皇室に桃を献上している「献上桃の郷」の地で、農業に挑戦する大学生



5

5 梱包作業にも農家の思いや工夫が込められていることを目の当たりにして驚く 6 世代を超えた農業トークに花が咲く 7 自分が採った桃は最高！



7



6

というイメージは、大人たちが決めたついていたのかもしれないと気付かされます。辛くても前向きに作業する学生の姿に「農業って捨てたもんじゃないなって希望がわいてきた」と生産者も感慨深げにうなづきました。



3



2



1

1 高さ4メートルある木を相手に脚立を移動させながら収穫 2 選果場では桃の状態を一個ずつ目視で確認。出荷の厳しさを痛感 3 作業内容をメモにとる

農家×大学生 刺激し合った6日間

天 変だけどころな空気の良いいところ仕事でできて気持ちいい」「桃の香りに包まれながら作業できるなんてめっちゃ幸せ」。

夏の暑さが残る8月22日、桃畑が一面に広がる伊達崎地区から、普段は聞き慣れない若者たちの笑い声が聞こえてきます。

今回応募があった福島大学と郡山女子大学の学生11人は4班に分かれ、後藤農園と(株)蓬田、(株)あいはら果樹園、よもぎた果樹園の4つの桃畑で

収穫や箱詰め作業を体験。黄色やオレンジのカラフルな作業着を身にまとった若者たちで、いつもの桃畑が一気に明るい雰囲気になりました。

「こんなにおいしい桃、生まれて初めて食べた」「日本の桃を作ろうと苦勞をいとわない農家さんに胸を打たれた」と、農業の魅力を肌で感じる学生たち。毎朝4時起き、炎天下での肉体労働という現実を知っても、積極的に作業に楽しさを見出す様子に「若者は農業をやりたいがらない」



4

4 出荷場へ運ぶ軽トラックへ採れたての桃を丁寧に積み込む

この町ならではのストーリーがある農業体験を

後藤農園 後藤 哲男さん

「こんな肉体労働、やりたがる人いねえべ。人集まんのか」。初めはこんなふうに思っていたが、熱意ある学生たちに農業の魅力が改めて気付かされました。学生には「食べ物に苦勞してできている」ということを感じてもらえればと思います。今

回の事業は、農業体験だけでなく、選果場で選果作業をしたり、マルシェで生産物を販売したりする筋道がある企画だったのも良かったですね。

町のみんなのつながりを生かして、ストーリーがある体験事業を行い、町の良さを広めていけたらと思います。来年もぜひ受け入れたいですね。



農業と縁が遠い
都会にもPRを
満山 和志さん

福島大学(会津若松市出身)

桑折町の強みはやはり農業。それを生かすためにも今回のような農業体験を企画し、県内だけでなく、農業と縁が遠い都会の方にも呼びかけをすることで、さらに知名度が上がると思います。

農家の努力に
胸を打たれた
阪谷 うるさん

福島大学(郡山市出身)

桃はもらうことが多く、買うことはあまりないので、店で見ると高いなと思っていました。しかし、今回農家の苦勞を知り、それだけの価値がつく努力が詰まっていると身にしみて感じました。



将来桑折町で
農業を営みたい
有馬 琉さん

福島大学(本宮市出身)

見ず知らずのわたしたちに、町の人は優しく親切にしてくれました。人のあたたかさに触れ、桑折町がいかに良いところかと強く感じました。将来は桑折町に住み、桃農家を営みたいです。



桑折の魅力は
桃だけじゃない
荒川 伶南さん

福島大学(栃木県出身)

「桑折町=桃」のイメージが強かったのですが、実際に町を訪れてみて、梨やりんごなどの果物や西山城跡からの美しい景色など、知らなかった魅力にたくさん気付くことができました。



日本有数の桃産地
貴重な経験
柳澤 錬さん

福島大学(宮城県出身)

家系で農業に携わる者がいないので、一度農業に関わってみたいと思い、今回応募しました。皇室に毎年桃を献上している、果樹栽培に長けた地域で体験することができて貴重な経験となりました。



人の良さに感動
住みたくなる町
石井 奈緒さん

福島大学(栃木県出身)

桑折町はもともと自然が豊かな町だなと思っていましたが、農家や町の皆さんが優しく気さくな人ばかりで、とても感動しました。住みたい！って思うくらい、この町が大好きになりました。





**みんなで歌った
一生の思い出**
鈴木 敬太さん
福島大学(茨城県出身)

音楽をやっている話をしたら、イベント中に飛び入りで生ライブに参加させていただきました。気さくな町の人たちに囲まれて、このままここに住みたい、と離れがたく思いました。

子どものうちから 農業に触れ合う



吉村 美紀さん
郡山女子大学(郡山市出身)

農家の高齢化が進む今、地元小・中学生を対象に、農業体験を通して、食育の大切さや農業の大変さを学んでほしいですね。きっと農業の魅力に気付くと思います。



**イベント運営に
興味がわいた**
小松 紫希也さん
福島大学(東京都出身)

マルシェに参加して、人気商品はどのようなものか、混む時間帯はいつごろかなど、経営に対して興味がわきました。熱中症対策などの工夫も知り、イベントを運営する際のヒントを学びました。

町特産品の 販路拡大を



鈴木 香帆さん
福島大学(宮城県出身)

マルシェでは、桑折町にしかないすてきな商品が多く販売されていました。現地でしか買えないのはもったいないので、販売先を増やしてPRすれば、桑折ファンが増えるのではないのでしょうか。



**町の良さを
口コミで広める**
佐藤 奏子さん
福島大学(福島市出身)

マルシェに参加して、桑折町は地域の皆さんのつながりが強く、人と人との距離が近いと感じました。町の良さを伝えるには、口コミも大事。わたし自身もこの体験を周りに伝えていきます。

学生の売り子姿に、消費者の関心も高まっていました。

また、福島大学農学群食農学類で果樹園芸学を専攻する高田大輔准教授は「こうした体験事業は、学校の座学だけでは学び切れない気付きを得られる貴重な機会だと思う。地方の若者離れが叫ばれる今、まずは実際に町を訪問し、若者にその地域での暮らしの良さを感じてもらうことが第一歩。自治体でこうした企画があるのは心強い。大学側も自治体と連携しながら、就農を目指す若者の背中を押していきたい」と話しました。



2 農業体験で生産する苦労を体感した分、商品が売れた時の達成感やお客さんに対するありがたみが増す 3 学生が描いた手作りのメニュー表 4 かつて幼稚園の園庭だった場所がマルシェ会場に。生産者と消費者の世代を超えた交流でにぎわう



でも良い雰囲気の良い空間になりました。

「桑折町ってあたたかい人ばかりで、自然豊かで良い町ですね」と学生に言われ、古里を見つめ直すきっかけにもなりました。ここに住む人にとっては当たり前のことが、よそから来た人にとっては魅力だったりすることがたくさんあります。

わたしたちも、今回改めて学生に気付かせてもらった古里の魅力を町づくりに生かして、外から来る人をもてなしたいと思っています。

朝から他の出店者と協力して、テント10張りを立て、そのうちの1張りで、町産野菜が入った惣菜パンやお菓子を販売。「どう並べるとお客さんが手に取りやすいか」「目にとめてもらうためにメニュー表は手描きしよう」と意見を出し合い、試行錯誤を重ねながら、売り子を務めました。

学生の出店ブースに足を運んだ人からは「若い子たちの声につられて店をのぞいてみた」「親身に買い物を手伝ってくれて、話をする時間も楽しかった」との声が。普段あまり目にしない



1 マルシェでは、お客さんとの会話も楽しみのひとつ。「孫にあげるプレゼントを探しに来た」というおばあさんのために「お孫ちゃんは何歳ですか」「この商品は出来立てでおいしいですよ」などと、会話が弾んだ

新しい視点で 地域を 掘り起こす



(株)ふるさとエール桑折 石幡 政子さん

profile「桑折町をもっと元気にしよう」と町内有志の声で立ち上がった、(株)ふるさとエール桑折。今年4月から町民研修センター「うぶかの郷」を指定管理者として運営する。体験期間中、学生の食事や宿泊の準備などを引き受けた

農業は桑折町にとっての基幹産業。後継者不足の問題も叫ばれる中、こうした体験事業を通して、若い世代にも桑折町のことや農業について、関心をもってもらうことは大きな一歩だと思います。

「うぶかの郷」で6日間過ごしてもらったのですが、若い人が出入りすることで、と

ここにしかない宝物 「帰りたくない」と涙が出た

今回桑折暮らしを体験した学生は「周りに灯りが少なく、高い建物がないから、満天の星を見られて感動した」「あたたかく楽しい人たちがばかりで、こちらもつられて明るい気持ちになった」と学生ならではの視点で「桑折町の良さ」を感じていました。中には、最終日、「帰りたくない」と泣き出してしまいう学生も。それほどまでに、若者の目には、桑折町での暮らし

が、空に星が輝いていても、わたしたちが見上げなければ、その輝きを知ることはないでしょう。同様に、地域に目を向けなければ、古里の価値や魅力に気付くことはできないでしょう。桑折町は、田舎まちではありますが、都会にはない、ここにしかない大切なものがたくさんあります。

「農業はきつい、後を継ぎたがる人なんていないだろう」桑折町は、若者にとって魅力がない町。そんなイメージは、もしかしたら町に住むわたしたちが決めていたのかもしれない。

大学生が過ごしたひと夏は、町にさまざまなヒントを残してくれました。外から来た人が感じる桑折町の豊かな自然、美しい農村景観、澄んだ空気、人情味あふれる人などは、これからの町の交流・関係人口を増やすヒントそのものです。

「灯台下暗し」とよく言われますが、外から訪れる人は、自分の町と比較ができます。でも、桑折の人は桑折の良さが当たり前となってしまうのです。

いつもと違う角度から、地域を見たり、考えたりしてみませんか。地域を見直すと、昨日まで気付かなかった大切なものや新しい発見に出合えるかもしれません。

地域の中の人々が、その良さに気付く、魅力として外に情報発信していくことが大切ではないでしょうか。

さあ、秋の夜空を見上げてみましょう。きっと新たな発見に気付くはず。ここから。これから。

移住後に発見した町の魅力

I turn

日本、東北地方の中で「桑折町」はどんな町なのか、
ここを「新たな古里」として選んでくれた人には、どう見えているのか —
外から来たからこそ感じる町の魅力を、Iターン者に聞きました。

東京で行政書士の仕事をしていたのですが、毎年夏、伊達市に住む親戚の家で桃の収穫を手伝ううちに、本格的に農業をやりたいと考えるようになりました。せっかくやるなら、日本一の桃をつくる「献上桃の郷」でと思い、隣の桑折町への移住を決めました。

今年の夏、2年前に苗を植えた桃が育ち、初めてピンクの愛らしい実を収穫することができました。荒地をならす状態からの、まさにゼロからのスタートだったので、うれしさのあまり、知人にひた

すら自分が育てた桃の写真を送っていました。「作物は手を掛けた分だけしっかり応えてくれるんだな」と感動しました。

農家だからなおさらですが、都会と違って、自然のリズムに合わせた生活をしていると感じます。明るくなったら起きて、暗くなったら寝る。雨の日は体を休める。東京では全然そんな生活ではなかったのです。桃の最盛期は朝4時起きで収穫をするのですが、空気の清々しさに、人生観も変わった気がします。

地域の団結力も心強いです。自宅のそばを2本の川が流れて

いるのですが、毎年地域の皆さんと清掃活動をしたり、大雨の日に川が氾濫しないように管理をしたりしています。都会では、隣同士だれが住んでいるか分からなかったり、水道の蛇口をひねれば当たり前に出た水が、ここに住み始めて「これがみんなで支え合って、自然の中で暮らしていくことか」とありがたみに気付きました。

いきなり知らない土地へ移住をして就農することは、ハードルが高く感じる人も正直多いと思います。ある程度の期間、田舎暮らしを体験できるような企画や支援策が増えていったら、桑折町への興味がわき、移住者が増えるのではないのでしょうか。

農業をやりたいくて桑折町へ
自然に合わせた生活に
人生観が変わりました

五つ星評価
仕事 ★★★★★
利便性 ★★★★★
文化 ★★★★★
自然 ★★★★★
人情 ★★★★★
福祉 ★★★★★



東京都から移住 小山 尚文さん (38歳・御免町町内会)

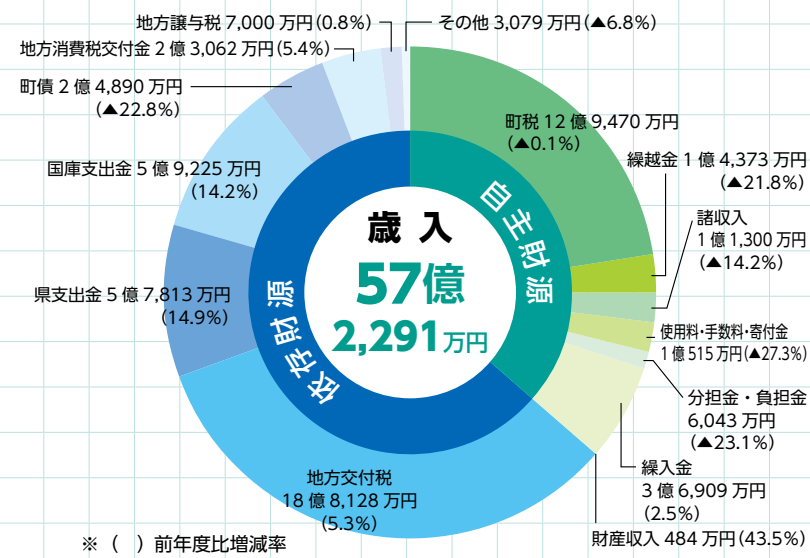
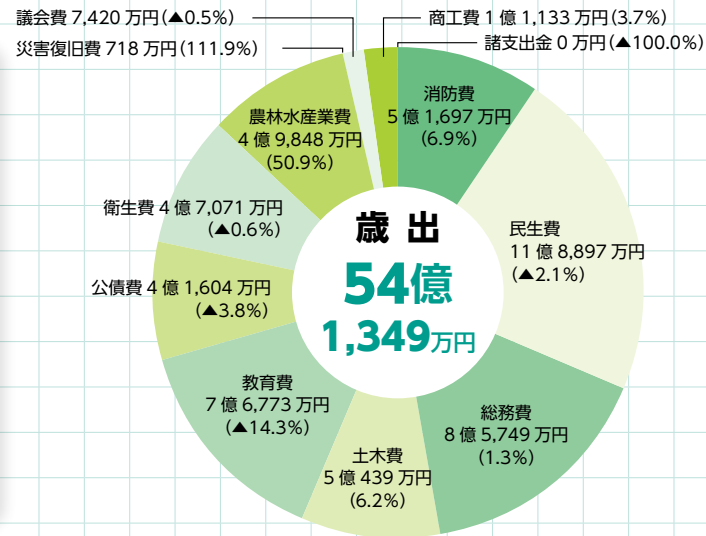
profile 東京都出身で、平成30年に桑折町へ移住。空家を改築して、妻と2人で暮らす。新規就農者として、農家のサポートを受けながら、自宅の周りと阿武隈川沿いで2ヘクタールの桃を育てる

役場新庁舎整備や放射性物質対策により、歳出総額は増加しました。

幼稚園既存園舎の改修事業完了により、教育費が減少しましたが、役場新庁舎整備費の増加による総務費の増加や、ため池等放射性物質対策事業による農林水産業費の増加により、歳出総額は増加しました。

歳出構成の内訳は【右グラフ】のとおりです。

目的別の事業内訳の主なものは、次のページを参照してください。



自主財源は、20億9,094万円となり、歳入比率が2.4%減少しました。

国・県支出金は、半田沼放射性物質対策事業に対する福島再生加速化交付金や除染土壌搬出事業に対する県支出金により増加しました。また地方交付税は、有害鳥獣対策などの特殊事情、震災復興事業の地方負担分に対する特別交付などにより増加し、繰入金は、長期避難者生活拠点形成交付金基金や庁舎建設基金からの繰入により増加しました。地方債は、地方創生拠点整備交付金事業債や幼稚園施設整備事業債が事業完了により減少しました。歳入構成の内訳は【左グラフ】のとおりです。

性質別歳出内訳

37.3%

義務的経費 20億2,662万円

人件費 10億3,435万円
扶助費※1 5億7,623万円
公債費 4億1,604万円

※1 児童・高齢者・障がい者・生活困窮者に対して支援に要するお金

17.8%

投資的経費 9億5,399万円

普通建設事業費 5億3,896万円
災害復旧事業費 4億1,503万円

44.9%

その他経費 24億3,288万円

物件費 9億7,748万円
繰出金※2 6億9,374万円
補助費等 5億9,606万円
その他 1億6,560万円

※2 一般会計から他会計や各種基金へ繰り出すための経費

町民1人あたりの歳出決算額 (単位: 円)

費目	決算額	対前年度増減額
民生費	100,411	▲287
教育費	64,836	▲9,494
総務費	72,417	2,172
消防費	43,660	3,542
土木費	42,597	3,208
衛生費	39,753	481
公債費	35,135	▲727
農林水産業費	42,098	14,687
商工費	9,402	499
議会費	6,266	79
諸支出金	0	▲4,949
災害復旧費	607	325
合計	457,181	
町民1人あたりの町税負担額	109,341	1,848

※ H31.3.31 現在の住民基本台帳人口 11,841 人をもとに算出

平成30年度 桑折町の

決算

決算は皆さんが納付された税金、国や県からの補助金・交付金などがいくら入ってきて、どのように使ったかを明らかにするとともに、町の1年間のあゆみ・記録となるものです。平成30年度の決算がまとまりましたので、ご報告します。



決算は黒字

平成30年度は、桑折町総合計画「献上桃の郷こおり創生プラン」の第2年次にあたり、総合計画の着実な推進はもとより、「移住・定住の促進」「にぎわいと活力の創造」「未来を見据えた人づくりの推進」の3つを重点目標に掲げ「こおりブランド」を確立し、「住みたいまち、こおり」の実現を目指して取り組みました。

その結果、歳入総額57億2,291万円（前年度比1.3%の増）、歳出総額54億1,349万円（前年度比0.3%の増）、歳入歳出差引額は、

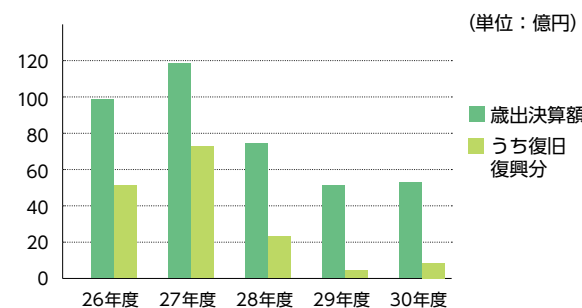
3億943万円となりました。このうち、翌年度へ繰り越すべき事業の財源3,921万円を差し引いた2億7,022万円が剰余金となり、決算は黒字となりました。剰余金のうち1億4,000万円を財政調整基金に積み立て、残り1億3,022万円を翌年度に繰り越しました。



用語の説明

【繰入金】 各種基金や他会計から一般会計へ繰り入れるお金	【一般会計】 福祉や教育・土木といった一般的な事業に使われ、町の事業の基本となる会計
【地方交付税】 自治体の財政力に応じ、国から交付されるお金	【自主財源】 町税や使用料など、町が自主的に収入できるお金
【国庫・県支出金】 特定の目的のために国や県から交付されるお金	【依存財源】 地方交付税など、国や県の意思によって額が決められ、割り当てられるお金
【町債】 国や銀行などからの借入金	【町税】 町民の皆さんが町に収める税金
【公債費】 町債の返済に使うお金	

歳出決算額の推移



特別会計決算

会計区分	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	13億7,397万	13億1,760万	5,637万
後期高齢者医療	1億6,236万	1億6,200万	36万
介護保険	15億5,017万	14億7,539万	7,478万
公共下水道事業	2億6,587万	2億6,080万	507万

水道事業会計

会計区分	歳入	歳出	差引額
収益的収支	3億7,335万	3億1,435万	5,900万
資本的収支	746万	9,842万	▲9,096万

※資本的収支の不足額9,096万円は、留保資金および地方消費税資本的収支調整額などで補てんしました。

各種基金の残高 (平成30年度末)

会計区分	基金名	残高
一般会計	財政調整基金	8億5,514万
	減債基金	1億3,372万
	庁舎建設基金	9億7,874万
	その他特定目的基金	7億8,718万
	土地開発基金	1億2,012万
国民健康保険	その他定額運用基金	7,572万
	合計	29億5,062万
	国民健康保険基金	6,409万
介護保険	介護給付費準備基金	7,175万

公表

平成30年度 町財政

『健全化判断比率』

『資金不足比率』

町財政の健全性を、一般会計は健全化判断比率で、公営企業会計は資金不足比率で判断します。

実質公債費比率、将来負担比率ともに基準値内であり、
財政の健全性が保たれている 状況です。

一般会計の健全化判断比率のうち、実質公債費比率、将来負担比率ともに基準値内であり、公営企業（水道事業会計、公共下水道事業特別会計）についての資金不足比率も良好であることから、財政の健全性が保たれている状況です。

実質公債費比率は、公共用施設用地取得事業に伴う債務負担行為※1に係る支払いが終了したことや、臨時財政対策債※2の発行可能額増加による収入増などにより、0.2%減少しました。また、将来負担比率は、退職手当支給予定額に係る負担見込額の減や、新たな債務負担行為の設定がなく既設定の債務負担行為に係る支出が着実に進展したことなどにより、3.8%減少しました。

- 用語の説明
- ※1 債務負担行為

契約等で将来にわたって支払いを予定すること

※2 臨時財政対策債

国が地方交付税として交付する財源が不足した場合、減額分を自治体自らに地方債を発行させる制度。償還費用は後年度の地方交付税で全額措置される。

※3 地方債償還

借金（一般会計年度を超えて行う借入れ）の返済

※4 標準財政規模

地方公共団体が標準的な行政活動を行う上で通常見込まれる一般財源（使途が特定されず自治体の裁量で利用できる財源）の規模〔本町は35億円程度〕

※5 基金（貯金）

特定の目的のために、資金を積み立て、または定額の資金を運用するために設ける財産

町債の状況

町債残高は、実質公債費比率、将来負担比率に大きくかわってくるものです。右のグラフは、平成25年度～30年度までの、一般会計・公共下水道事業特別会計・水道事業会計の町債残高の推移です。

※帯内の各数値が、各会計年度ごとの残高です。

平成30年度末 町債等の残高

会計区分		29年度末残高(A)	30年度借入額(B)	30年度償還元金(C)	30年度末残高(A)+(B)-(C)
町債	一般会計	44億2,364万円	2億4,890万円	3億8,248万円	42億9,006万円
	公共下水道事業特別会計	18億9,785万円	3,660万円	1億5,169万円	17億8,276万円
企業債	水道事業会計	11億2,167万円	—	6,179万円	10億5,988万円

(単位：%)

区 分		28年度	29年度	30年度
健全化判断比率	実質赤字比率(15.0)	—	—	—
	連結実質赤字比率(20.0)	—	—	—
	実質公債費比率(25.0)	11.0	11.6	11.4
	将来負担比率(350.0)	10.1	7.4	3.6
資金不足比率(20.0)	水道事業会計	—	—	—
	公共下水道事業特別会計	—	—	—

- 1.健全化判断比率の実質赤字比率、連結実質赤字比率、および資金不足比率は、赤字や資金不足になっていないために「-」で記載しています。
- 2.()内は早期健全化基準。これを超えた場合、財政健全化団体として「財政健全化計画」の策定と、自主的・計画的な健全化を国から求められることになります。

実質公債費比率

一般会計が実質的に負担する地方債償還金※3の標準財政規模※4に対する割合の3か年平均値。一般会計が借り入れた地方債だけでなく、公営事業会計や一部事務組合の地方債償還に係る負担も含みます。町が年間どの程度を借金返済に充てているかを指標化したもので、一般会計の資金繰りの悪化の度合いを示します。

家計に例えると…

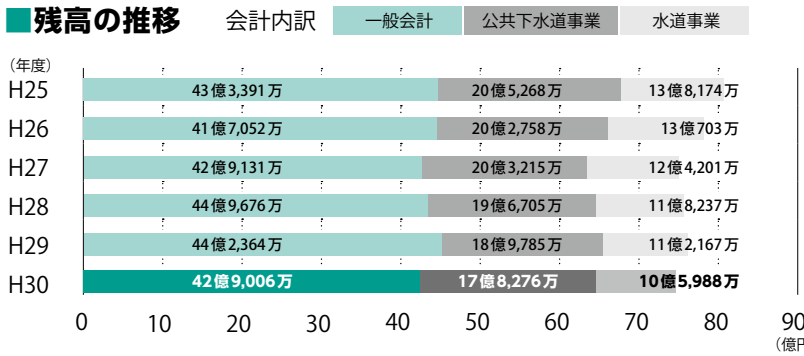
年収に占める年間の借金返済額の割合

将来負担比率

一般会計が将来負担すべき実質的負債の標準財政規模※3に対する割合。公営事業会計や一部事務組合のほか、地方公社や第三セクターに対する実質的負担も含めた一般会計の将来負担見込額から基金※5など地方債償還に充てることができる財源を控除したものが年間収入の何%に相当するか指標化したもの。地方債償還の負担が将来の財政を圧迫する可能性の度合いを表します。

家計に例えると…

借金残高が年収の何%あるのかを示した割合



平成30年度

主な使いみち

重点プロジェクト

農業振興活動拠点施設運営・周辺整備事業	1,997
町振興公社の組織強化支援事業	1,244
楽天イーグルス「献上桃の郷 桑折町デー」協賛事業	408
献上桃の郷こおりシティプロモーション事業	28
観光誘客プロモーション事業	375
国道4号IC周辺の土地利用検討と企業誘致業務	114
史跡桑折西山城跡整備事業	8,785
役場新庁舎建設事業	7,868

I. 魅力的で活力ある 地域社会の創生

活力ある農業の推進（桃穿孔細菌病防除対策事業、水田農業構造改革対策奨励金事業など）	4,250
営農支援体制の強化（農業次世代人材投資事業、新規就農農業后继者支援事業 など）	436
有害鳥獣対策の強化（有害鳥獣対策実施隊事業、有害鳥獣対策助成事業など）	2,469
農村環境の整備充実（ため池放射性物質対策、伊達崎排水機場維持管理費など）	21,873
商業の活力づくり（商工会による商店街活性化に対する補助、地域振興事業に対する補助など）	814
観光物産の振興（桑折ブランドづくり事業、西根堰ウォーキング大会協賛など）	1,189
都市的土地利用の推進（都市再生整備計画策定業務）	711
移住・定住の促進に向けた環境づくり（桑折町若者定住促進事業(住宅取得・リフォーム支援)など）	981

II. 健やかで希望に満ちた 暮らしの確立

母と子の健康づくり推進（妊婦健康診査、産後1カ月健康診査、産後ケア事業など）	8,293
児童福祉の充実（児童手当給付事業、ひとり親家庭支援）	16,390
子ども・子育て支援事業の推進（児童館及び各地区放課後児童保育管理運営など）	4,624
生活習慣病予防と重症化予防の対策推進（各種検診事業、健康教育・相談事業、特定検診、特定保健指導事業 など）	2,378
心と体の健康づくり推進（インフルエンザや結核などの感染症予防対策事業、内部被ばく検査など）	4,496
国民健康保険の財政運営健全化（国民健康保険特別会計への繰出金）	18,664
後期高齢者医療制度における保険事業の推進（後期高齢者医療特別会計への繰出金など）	17,532

「献上桃の郷こおり創生プラン」に基づき、健全な財政を保ちながら、桑折町らしい町づくりに取り組みました。重点プロジェクトと5つの基本構想別に、主な事業を紹介します。

地域ぐるみの福祉活動の推進（民生委員活動費、シルバー人材センターへの支援、自殺予防啓発など）	2,888
障がい者支援と社会参加促進（障がい者自立支援など）	24,490
高齢者等福祉タクシー利用券給付など	5,174
介護保険特例会計への繰出金	22,761

III. 安全安心で住みやすい 生活環境の構築

地域防災力の強化（防災対策費、水防対策費など）	443
災害へ備える防災基盤の整備（川原水路改良事業工事）	564
防犯活動の推進（防犯灯の設置・修繕など）	1,189
放射能に対する不安解消（食品放射能測定など）	21,781
中間貯蔵施設への除去土壌等の搬出（仮置場解体など）	18,335
廃棄物の適正な処理と資源循環型社会の形成（一般廃棄物収集運搬業務委託費、ごみ再資源化活動奨励など）	9,801
地球環境保護運動の推進（再生可能エネルギー導入など）	287
町道等維持管理の充実（町道・橋梁・農道・水路維持管理）	10,766
住宅の整備・供給（桑折駅前団地関連広場整備工事など）	6,186
公共下水道事業特別会計への繰出金	14,028
水道事業の健全な経営（町水道施設整備事業補助金）	412

IV. 志高い人材を育む 学びの醸成

乳幼児保育の充実（保育所管理運営費、屋根防水修繕）	10,021
幼稚園教育の充実（嘱託職員等配置、施設維持補修）	6,449
幼児教育にかかる経済的支援（幼稚園就園奨励費など）	64
教育内容の充実（学力向上事業、英語指導助手受入など）	4,426
学校教育にかかる経済的支援（準要保護、特別支援学級）	1,101
生涯学習活動の推進（各世代の講座・教室、図書活動など）	781
芸術・文化の振興（芸術・文化事業、文化活動団体支援）	236
公民館施設等の充実（公民館施設維持管理・運営など）	3,792
健康・体力づくりを目指す生涯スポーツの推進	1,312
体育施設等の充実（イコーゼ！・町民体育館管理など）	5,596

V. 計画推進に向けた取組み

町内会活動の活性化（行政連絡員報酬など）	1,460
住民自治活動の活性化（住民自治協議会運営交付金など）	278
窓口業務の充実（戸籍住民基本台帳事務など）	2,789
情報通信技術の活用（地域イントラネット運用管理など）	1,444
町税の適正な課税と収納率向上（課税事務費など）	3,567
分かりやすい情報発信（「広報こおり」の発行など）	695

平成31年度

一般会計上半期予算状況

今年度の当初予算総額は71億6,959万円でしたが、その後の予算補正により9月末の予算現額は、**72億891万円**となりました。

予算補正の主なもの

▶プレミアム付商品券配布事業費(新規)	1,678万
▶桑折西山城復元完成祭事業費(新規)	825万
▶タクシー利用助成実証事業費(新規)	269万
▶西根堰ストックマネジメント県営事業負担金(新規)	315万



いつまでもお元気で 令和初の敬老会

町敬老会が9月7日、町地域交流センターで開かれ、75歳以上の方と関係者約500人が出席しました。

式典では、高橋町長が「皆さんがいつまでもお元気で、わたしたち後輩をご指導いただくようお願いします」とあいさつ。その後、町長から賀状の贈呈、菊地英誠福島民報社労務部長と斉藤洋雄町老人クラブ連合会会長から金婚夫婦の表彰状が手

渡されました。

式終了後は、はじめに釀芳中吹奏楽部が「演歌メドレー」を演奏。水戸黄門のテーマソングなど、お馴染みの曲目を披露しました。参加者からは大きな拍手が沸き起こりました。続いて、華やかな衣装を身につけた、町老人クラブ連合会女性部によるダンスが披露。「素敵」とあちこちから歓声が上がり、会場は笑顔に包まれました。

1 米寿を迎え、笑顔で賞状を受け取る 2 おそろいの衣装に身を包み、懐かしい曲に合わせてダンス 3 大好きな演歌が流れ、思わず口ずさむ参加者も 4 米寿・喜寿・金婚夫婦の各地区代表者の皆さん

移住定住促進に向けて 信用金庫で住宅ローン創設

福島信用金庫は、桑折町に移住定住する人を対象にした住宅ローン「献上桃の郷こおり移住定住者支援ローン」を創設し、9月2日、役場で会見し発表しました。

これは、町外から桑折町へ移住定住を希望する人が住宅を取得またはリフォームしやすくなるように創設した専用住宅ローンです。桑折町

と福島信用金庫が地方創生への取り組みとして締結している「地域密着総合連携協定」に基づく取り組み。

このローン創設は、同信用金庫の営業区域市内町村で第1号となる取り組み。樋口郁雄理事長は「今後、多くの人を利用して、移住定住や空家バンク事業の推進につながってほしい」と述べました。



◀ 定住促進に向け固く握手をする樋口理事長(左)と高橋町長

移住定住支援ローンとは？

住宅の購入・リフォーム資金(2,000万円以内)を最長25年無担保で返済できるというもの。町に移住を希望する人または町に移住して1年以内の町民が対象です。詳しくは、福島信用金庫桑折支店(☎582-2265)まで。

被爆者の苦しみを伝えていきたい

被爆体験の朗読会で「8月6日の朝、元気に出て行った姉が帰ってこない」という詩を聞きました。2月に単身赴任先で亡くなった自衛官の父と重なり、胸が苦しくなりました。父の遺志も引き継ぎ、平和な世界をつくるため、この経験を語ってみたいです。



釀芳小
加藤 莉緒さん

わたしたちの力で平和を創ろう

戦争のない平和な世の中にするためには、まずは戦争の被害を知ること、そして、ありがとうやごめんねの言葉で認め合い、寄り添い、相手との違いを理解しようと努力することが大切です。平和について考え続けることが平和な世の中を創っていくと思います。



釀芳小
菅野 笑瑚さん

もう二度と核兵器を使わない

原爆によるひどい広島の実験があるのに、世界にはまだ1万4,000基もの核兵器があります。もう二度と核兵器を使わない平和な世界を願います。74年前、誰もが悲しんだ歴史を無駄にしないために、相手を思いやり、平和の大切さを伝えていきたいです。



睦合小
河野 日南さん

「負の世界遺産」とは

広島は戦争の遺産であるから「負の世界遺産」と言われていますが、戦争で原爆を使った、おろかな人間をいましめる遺産だと感じました。戦争に「負けた」遺産ではなく、これから二度とぼくたちが戦争を起こさないということを「負う」遺産なのだと思います。



半田釀芳小
井藤 柊太さん

自分の周りから、日本、世界へー

広島の被害は、目をおおいたくなるような衝撃的な悲惨さでした。わたしには今すぐ世界を変えることは難しいですが、まずは小さな「助けて」を見逃さず、笑顔を忘れないことなど、自分の周りから平和にしていき、いつかは日本、世界へと広がってみたいです。



伊達崎小
大概 和奏さん

1 世界遺産の原爆ドームをバックに 2 資料館では戦争の悲惨さを目の当たりに 3 熱心にメモをとりながら学習 4 各小学校6年生全員が折った千羽鶴を奉げました

平和学習派遣事業が8月5日～7日に行われ、各小学校6年生の代表児童5人が参加しました。児童らは、広島市の平和記念式典に出席し、市長による平和宣言や子ども代表の平和への誓いを聞き、原爆の子の像に千羽鶴を奉納しました。

また、被爆体験朗読会に参加し、被爆者の声を聞き、原爆資料館では、数多くの展示物の見学から被爆当時の広島の実況について多くのことを知り、平和の尊さを改めて感じました。展示資料や映像の中には、あまりの悲惨さに目を背けたくなるものもありましたが、児童らは見たことをメモに記録し、原爆について多くのことを学びました。

原爆投下の日に、広島を訪問 戦争の恐ろしさ、平和の尊さ学ぶ



上下水道料金の変更

11月請求分から
水道料金変わります

問 上下水道課 業務係 ☎582-1100

10月からの消費税率の改正に伴い、11月請求分(10月使用分)から上下水道料金が変わります。新しい金額は、ご使用いただいた水量に基づいて計算した金額に、新税率10%を適用します。金額はすべて税込みです。

◆水道料金 (1月につき)

	口径 または 使用量	10月請求分 まで (9月使用分)	11月請求分 から (10月使用分)
基本料金	13ミリ	1,382.4円	1,408円
	20ミリ	2,376円	2,420円
	25ミリ	5,292円	5,390円
	30ミリ	6,912円	7,040円
	40ミリ	11,448円	11,660円
	50ミリ	16,848円	17,160円
水量料金	75ミリ	37,584円	38,280円
	1～10m ³	108円	110円
	11～20m ³	226.8円	231円
	21m ³ 以上	270円	275円

※基本料金と水量料金の合計額。1円未満切捨て。
水量料金は1m³につきの金額。

◆下水道使用料 (1月につき)

	汚水量	10月請求分 まで (9月使用分)	11月請求分 から (10月使用分)
基本使用料	10m ³ まで	1,404円	1,430円
	11～20m ³	162円	165円
超過使用料	21～40m ³	183.6円	187円
	41～60m ³	216円	220円
	61m ³ 以上	259.2円	264円

※基本使用料と超過使用料の合計額。
1円未満切捨て。
超過使用料は1m³につきの金額。



福島県議会議員選挙

県議会議員選挙
忘れずに投票を

問 選挙管理委員会 (総務課内) ☎582-2111

投票日 ▶ **11月10日 日**
午前7時～午後6時
場所: 各地区公民館

期日前投票 ▶ **11月1日 金～9日 土**
午前8時30分～午後8時
場所: 役場 1階 応接室

開票日 ▶ **11月10日 日** 午後8時～
場所: 「イコーゼ！」

その他、詳しい内容については、随時広報やホームページなどでお知らせします。

駅前に車で送迎する皆さんへ

駅前路上駐車は危険
駐車場のご利用を

問 まちづくり推進課 都市整備係 ☎582-2124

送迎のため駅前に駐停車している車が多く見受けられます。道路も狭く、大変危険ですので、ロータリーや駅前駐車場をご利用ください。駅前駐車場は、今年から有料化しましたが、最初の2時間は無料で使用できます。

ご協力をよろしくお願いします。

町総合計画アンケート

総合計画策定に向け
アンケート実施

問 総合政策課 政策推進係 ☎582-2115

新総合計画の策定にあたり、町民の皆さんの意向やニーズを把握し、町の施策に反映させるため、アンケート調査を実施します。アンケートは、町民2,200人を対象とし、10月上旬に調査票を配布し行います。調査票が届いた人は、ぜひ回答にご協力をよろしくお願いします。

回答期限 ▶ **10月18日 金**
※同封の「返信用封筒」で返送してください。

タニタの管理栄養士に聞く!

タニタ食堂で推奨する
ヘルシーレシピの特徴とは?

1 バランスよく食べる!

1日3食、「主食・主菜・副菜」の3つのお皿を食卓に並べるように心がけましょう。

2 適量食べる!

手秤で適量を表すと、主食は両手をすばめたところら収まるくらい、主菜は片手の手のひら分、副菜は両手を開いた状態で乗り切る分が適量です。

3 満足感を大切に!

食事の時に、時間を測るのがおすすめです。タニタ食堂では、20分間を推奨しています。

◎食堂で提供しているメニューは…

- ▶ カロリー 500kcal前後
- ▶ 塩分 3g未満
- ▶ 野菜 150～250g

タニタヘルスリンク管理栄養士
尾上 阿希子さん



▶ 講演後は、参加者の健康に対する疑問に答えていただきました

タニタの管理栄養士が講演
健康的な体をつくる食事とは

タニタの社員食堂セミナーが9月21日、「イコーゼ!」で行われ、参加者約170人が健康食について学びました。
(株)タニタヘルスリンクの管理栄養士の尾上阿希子さんを講師に招き、タニタ食堂で推奨する健康レシピの特徴や効果的な運動の仕方など、実践的な内容を紹介していただきました。
参加者は、両手を秤代わりにして、主食・主菜・副菜の適切な量を確認したり、会場に用意された健康測定器具を使って、体脂肪や筋肉量など、自分の体の状態を把握したりして、食生活改善のきっかけとなりました。

若者ならではの視点で
桑折の地域課題や解決策を考える

福島発地域課題解決チャレンジプログラムが9月5日～7日までの3日間、町内で行われました。
県北地方振興局主催の本事業は、東京と福島の大学生が、地域住民との交流の中で、地域の魅力や課題を検討していくというもの。14人の大学生が町の名所を訪れたり、商工会の役員や青年部と交流したりしながら、地域課題を見つけ、



▶ 町や商工会職員を前に、町で感じたことを発表しました

若者らしい発想で解決策を考え、発表しました。

10月から町職員新規採用
保健師として健康福祉課に配属

今年10月1日付けで町職員に採用されました。
【抱負】これまで看護師として習得してきた知識や経験を活かし、皆さん一人一人に寄り添い、健康的な生活づくりを手助けできるように、がんばります。



健康福祉課 保健師
菅野 綾



▲賀寿の賞状や記念品を受けとり「ありがたい」と話す菊地さん

緑 100 歳おめでとうございます 風園で楽しく生活する菊地さん

9 月 5 日に 100 歳を迎えた菊地 yasunori さんへの知事賀寿贈呈式が、桑折緑風園で行われました。県北保健福祉事務所と町から賀寿と記念品、町社会福祉協議会と町老人クラブ連合会からお祝い金が贈られました。社交的な性格で、周りにもとけこみやすく、どんな環境でもなじめる菊地さん。現在通っている緑風園でも、利用者さんや職員に囲まれ、毎日楽しく生活しています。長生きの秘けつは、何でも前向きに考えること。「家事・育児をすることを一切苦に思うことなく、むしろ楽しんで行っていた」と当時を懐かしみながら笑顔で話しました。

ス 100 歳おめでとうございます キーやお散歩が大好きな虎岩さん

9 月 10 日に 100 歳を迎えた虎岩 ノブ さんへの知事賀寿贈呈式が、コクーンで行われました。県北保健福祉事務所と町長から賀寿と記念品、町社会福祉協議会からお祝い金、そして、ご家族を代表して、甥の長女の金野麻衣さんと孫の金野亜美ちゃんから花束が贈られました。特技はスキー。体を動かすことが大好きで、昔はよく自転車に乗ったり散歩したりしていました。長生きの秘けつは、社会参加をすること。「反省と感謝を忘れないように」という心掛けも大切にしていました。甥の菱沼直巳さんは「これからもずっと長生きしてほしい」と話しました。



▲孫にもらった花束を嬉しそうにぎゅっと抱え、満面の笑顔を向ける虎岩さん（前列中央）



▲ご家族や施設職員らに囲まれ、100 歳の日を迎えた宍戸さん（後列中央）

手 100 歳おめでとうございます 先が器用な宍戸さん

9 月 10 日に 100 歳を迎えた宍戸 ヨシノ さんへの知事賀寿贈呈式が、桑折緑風園で行われました。県北保健福祉事務所と町長から賀寿と記念品、町社会福祉協議会からお祝い金が贈られました。もの作りが得意な宍戸さん。縫い物から編み物、料理など、何でも器用にこなします。「今も材料があれば、縫い物したくなっちゃう」と笑みがこぼれます。長生きの秘けつは、クヨクヨすることなく、のんびりと生活すること。甥の宍戸 行則 さんは「手先が器用で何でも手作りしてくれた。これからも毎日楽しく過ごしてほしい」と感謝していました。



▲議場を見学する児童たち。「こんなところがあるなんて初めて知った」と興味津々

町 釀芳小学校町探検 内のお店や企業などについて理解深める

釀芳小学校 2 年生の生活科学習の一環として「桑折町探検」が 9 月 19 日に行われ、5 人ごとの班に分かれて、町内のお店や企業を訪問しました。役場には、10 人の児童が訪れ、庁舎内や議場を見学。「役場にはどんな仕事があるのか」「1 日に何人ぐらいの人が来るか」など、日ごろ疑問に思っていたことを職員に質問しました。「たくさんの種類の仕事があってびっくりした」「普段なかなか入る機会がないので良い経験になった」などと役場の仕事について理解を深めました。



▲選手を代表して大会への決意表明を述べる、指揮者の野田ひとみさん

町 第 24 回全国女性消防操法大会結団式 女性消防隊、全国の舞台へ

11 月 13 日に横浜市で開催される「第 24 回全国女性消防操法大会」を前に、女性消防隊の結団式が 8 月 24 日、レガーレこおりで行われました。選手代表が『速く、正しく、きれいな操法』を目指したい」と決意表明をした後、町長をはじめ来賓の方々から激励の言葉が述べられ、選手らは決意を新たにしました。選手らは大会本番に向けて、西分署員の指導協力のもと、厳しい訓練に取り組んでいます。今後は、10 月 20 日の町地域防災訓練で練習の成果を披露する予定です。

福 ご芳志ありがとうございます 祉支援のためコクーンより寄附

社会福祉法人「コクーン」より、寄附金 3 万円が高橋町長に手渡されました。この寄附金は、8 月 3 日に開催された「コクーン夏祭り」で設置された募金と売上金の一部で、震災後の平成 24 年度以降、毎年いただいています。「コクーン」の安彦慶一理事長は「町の社会福祉事業に役立ててほしい」と話しました。今年で 15 回目の節目の年を迎えた「コクーン夏祭り」は、天候にも恵まれ、大いに盛り上がりました。



▲（左から）「コクーン」の大木哲元理事長、山岸一昭施設長、安彦理事長、高橋町長



▲（前列左から 2 番目）安細朋子委員長、（左から 3 番目）田村トキ副委員長

長 桑折町赤十字奉仕団感謝状受賞 年にわたる国道の美化活動を称えて

日赤奉仕団桑折支部が 8 月 28 日、福島市の福島河川国道事務所で、国土交通省から感謝状を受賞しました。桑折町赤十字奉仕団は、平成 7 年から 24 年間にわたり、上郡地内の国道 4 号線沿の花壇の植栽や、除草などの作業を定期的実施。こうした環境美化や道路景観の維持・向上に多大な貢献をしていると評価され、受賞となりました。国土交通省では、毎年 8 月を「道路ふれあい月間」とし、この行事の一環として、日ごろから道路の美化活動に貢献している人に対して表彰を行っています。

時 特別養護老人ホーム「あつかし荘」夜間消防訓練 代超えて夜間の火災に備える

特別養護老人ホーム「あつかし荘」の夜間消防訓練が 9 月 1 日の防災の日に、同施設職員と町消防団員ら約 90 人により実施されました。この訓練は、昭和 62 年に東京都の特別養護老人ホーム「松寿園」で 17 人の入所者が夜間の火災で犠牲となった事件を受け止め、平成元年の夜間消防訓練実施以来、毎年継続して行っています。令和初となる今年の訓練でも、施設職員が少なくなる夜間に火災が発生したことを想定し、通報、職員の非常招集、初期消火、避難誘導など、一人一人が行動の手順を確認し、真剣に取り組みました。



▲あたりが暗くなった野外で、消火訓練にあたる職員と消防団員



皆さんからよくある質問にお答えします 第5回 介護保険制度の「ここが聞きたい！」

介護保険制度は、住み慣れた地域でいつまでも健やかに暮らせるように、また、介護が必要になっても安心して自立した生活を送れるように、社会全体で支えていくという仕組みです。
今月号では、皆さんから多く寄せられる、疑問にお答えします。

QUESTION 01

介護保険サービス利用における手続き

介護保険のサービスを利用するには
どんな手続きをすればいいの？

介護サービスを利用するためには、「介護または支援が必要」と町に認定される必要があります。
認定を受けるには、まず、やすらぎ園の健康福祉課で、介護保険要介護認定の申請が必要です。
申請書が受理されると後日、調査員が訪問し、ご本人の心身の状態などについての聞き取り調査を行います。訪問調査の結果と主治医（かかりつけ医）の意見書をもとに介護認定審査会で、総合的に審査判定し、介護や支援が必要な度合い（要介護度）が決定されます。

申請

健康福祉課で介護保険要介護認定を申請（保険証が必要です）

訪問

ご本人の心身状態を調査するため、調査員が自宅などを訪問

審査

申請から約30日で決定されます
調査の結果などをもとに、介護認定審査会で要介護度が決定

手続きの流れ

QUESTION 02

介護保険サービスの種類と内容

介護保険のサービスは
どのようなものがあるの？

介護保険には、主に次の3つのサービスがあります。
■在宅サービス
自宅で生活しながら受けられるサービスです。
・通所介護（デイサービス）
・通所リハビリテーション（デイケア）
・短期入所（ショートステイ）
・福祉用具貸与
・訪問介護や訪問看護など

■施設サービス
介護施設に入所し、生活に必要なサービスを受けます。
・介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
・介護老人保健施設（リハビリを目的とした施設）

要支援1・2

●介護予防サービス
包括支援センターの職員と相談しながら、サービスを決定

要介護1～5

●在宅サービス
●施設サービス
居宅介護支援事業者や施設のケアマネジャーと相談しながらサービスを決定

QUESTION 03

介護保険料の支払い方法

介護保険料は
どのようにして納めるの？

被保険者は第1号被保険者（65歳以上）と第2号被保険者（40歳以上65歳未満）に分かれており、年金額や加入している保険の種類によって納め方が異なります。

C H E C K

第1号被保険者
65歳以上

Q. 老齢・退職年金、遺族年金、障害年金の年額は？

年額18万円 以上

年金から徴収されます。これを「特別徴収」といいます。

年額18万円 未満

町から送付される納付書、または口座振替で納めることになります。これを「普通徴収」といいます。

※第1号被保険者になってからすぐに特別徴収（年金天引）が開始されるわけではありません。特別徴収になるまで半年から1年ほど時間を要します。特別徴収開始の通知が届くまでは普通徴収同様、町から送付される納付書または口座振替で納めます。

第2号被保険者
40歳以上65歳未満

Q. 現在加入している医療保険の種類は？

職場の医療保険 に加入

給与から天引きされます。被扶養者の分の介護保険料も含まれているため、別途納める必要はありません。

国民健康保険 に加入

自営業者の場合は、医療保険分と介護保険分を合わせて世帯主が納めます。町から送付される納付書や口座振替によって納めます。

※介護保険料は収入金額や加入している医療保険の種類によっても異なります。

QUESTION 04

介護保険料の役割

サービスを利用しないので、
保険料は払いたくない！

介護保険は、すべての被保険者に保険料を負担してもらい、社会全体で介護を支える助け合いの仕組みです。医療保険制度と同様に、病院に行かなくても保険料を納めていただいていることと同じです。今は利用することがなく

ても、将来、介護が必要となるときにサービスを受けられる仕組みが整っていれば大きな安心につながります。介護が必要な人の生活を助け、また、介護する家族の負担を減らす制度のしくみにご理解とご協力をお願いします。

ひとりで悩まず、ぜひご相談ください 介護についての相談窓口

保健福祉センター「やすらぎ園」内には、町の健康福祉課と地域包括支援センターがあり、介護に関する窓口となっています。

地域包括支援センターでは、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で生活できるよう、高齢者に関する悩みや困りごとの相談に応じ、必要な介護サービスやその他の保健福祉サービスにつなげるお手伝いをしています。

専門的なスタッフが一人一人の悩みに寄り添って一緒に考えます。気軽にご相談ください。

相談
窓口

町地域包括支援センター
☎582-1188

健康福祉課 ☎582-1134

10/2	WED	広報10月号、お知らせ版 特定健診・各種がん検診(～10月9日) ★	★
3	THU		♡
4	FRI		★◆
5	SAT	桑折町文化祭社交ダンス交流会 桑折学習塾(中学)	
6	SUN	体験チャレンジ活動、JA杯秋季ソフトボール大会 予備日 ㊟かしの木内科クリニック ☎551-1411	
7	MON		♡
8	TUE		
9	WED		
10	THU	4か月児健診(0元5月生、受付:13:15～13:30) 健康相談日(総合公民館) 7か月児健診(01年2月生、受付:13:00～13:15) 健康相談日(総合公民館)、ブックスタート、友達くらぶ	♡★
11	FRI	GG友の会グラウンドゴルフ大会 すくすくカフェ	◆
12	SAT	市町村対抗福島県ソフトボール大会 幼稚園運動会	
13	SUN	ふくしまバーガーサミットin桑折2019 スポーツテスト ㊟神岡クリニック ☎586-1318	
14	MON	㊟北福島医療センター ☎551-0551	体育の日
15	TUE		
16	WED		★
17	THU	グラウンドゴルフ月例コンペ すくすくキッチン	
18	FRI	小学校学習発表会 桑折学習塾(中学)	★◆
19	SAT	町防災訓練、醸中祭、桑折国見親善野球大会	
20	SUN	㊟ながえクリニック ☎575-1118	
21	MON		♡
22	TUE	即位礼正殿の儀 ㊟井上内科クリニック ☎581-2202	
23	WED		★
24	THU	10～11か月児健診(H31年10月、11月生) (受付:13:00～13:30)	♡
25	FRI		◆
26	SAT	桑折町文化祭(～28日) 桑折学習塾(小学:伊達崎)	
27	SUN	町文化祭芸能・ダンス発表会 ㊟桑名医院 ☎583-3024	
28	MON		♡
29	TUE		
30	WED		★

●公民館 ●やすらぎ園 ㊟休日当番医
◆母子手帳交付・すくすくの日
【交流スペース開放】:「イコーゼ!」10:00～11:30
♡ベビールーム(1ヵ月～1歳5ヵ月頃のお子さんと保護者)
★キッズひろば(1歳6ヵ月頃～就園前のお子さんと保護者)

高齢者大学「かやのき学園」

健康講話



健康講話が9月20日、桑折公民館で行われ、「かやのき学園」の皆さんが、町管理栄養士から「健康寿命を延ばすための食生活」について学びました。

食品サンプルを使って、毎食に必要な食材の適量や栄養素について確認しました。「今まで適量を超えていた」「栄養が偏っていた」など、参加者一人一人が健康について改めて気付くきっかけとなりました。

Recipe

今月の健康レシピ

簡単茶わん蒸し



■作り方

- 1 かにかまぼこ、しめじをほぐし、器に入れる。
- 2 卵を溶きほぐし牛乳と混ぜ①に注ぎ入れ、蒸し器で30分蒸す。
- 3 フライパンに鶏ひき肉を入れてへらでほぐしながら炒め、分量の水・しょうゆ・みりん・パセリのみじん切りを加え水溶き片栗粉でとろみをつける。



【1食分の栄養価】 エネルギー 214kcal
たんぱく質 14.5 g / 脂質 11.8 g / 鉄 1.1mg
カルシウム 143mg / 塩分 1.1g

簡単に出来て、良質のたんぱく質やカルシウムがとれます。～阿部ミヨ子さん～

お答えします!

絵本に興味をもってくれなくて…

大人は知識を与えるつもりで、始めから終わりまでを順番に読み通そうとしたり、多くを期待したりしてしまいがちですが、最初は自分勝手にページをめくったり、1つの場面だけを見て終わりというだけでも良いのです。興味を示したページがあったら、そこに書いてあるものの名称を言ってあげましょう。例えば、りんごが描いてあったら「りんごだね」「赤いね」「おいしそうだね」など。「読み聞かせは、こうであるべき」というものはありません。肩の力を抜き、お子さんと遊ぶようなつもりで、毎日繰り返してみてください。一番はお母さんが絵本が大好きになることです。

子育て世代包括支援センター「すくすく」では、皆さんからの子育てについての不安や悩みについて、いつでも相談できるように、メールによる相談も始めました。

こちらのQRコードから気軽にご相談ください▶



10月からスタート!
子育てメール相談

NEWS

子育ての悩みにお答えします



「こんな時はどうしたらいいんだろう?」
パパやママたちの子育ての悩みや素朴な疑問にお応えします。

ママからの質問

絵本とのふれあいが大切だと思い、一生懸命読み聞かせているのですが、なかなか喜んでくれません。どうしたら興味を示してくれるようになるのでしょうか?



9月の3歳児健診

むし歯のない子

— INFORMATION —

3歳児健診で、むし歯のなかった子を紹介します。

これからも歯磨きを頑張って、むし歯ゼロを目指してね!

㊟健康福祉課 子育て支援係 ☎582-1133



藤田 莉愛ちゃん



佐藤 由奈ちゃん



半澤はづきちゃん



松原 大凱くん



安彦 夢叶ちゃん



和泉 琴音ちゃん



赤坂 緒心ちゃん



小林 颯介くん



遠藤 優愛ちゃん



後藤 碧斗くん



小原 一紗くん



今野 大輝くん



藤倉 彩陽ちゃん



植野 心陽ちゃん



高木 諄くん



佐藤 董ちゃん



丸林ゆずなちゃん



松浦 颯優くん

図書だより

図遊学館「よも〜よ」 ☎ 582-5388

／ 今月のおすすめ ／

福島にゆかりのある人の本



一般書

■将軍の子 佐藤巖太郎：著（文藝春秋）

生まれた直後に養子に出された徳川秀忠の庶子、保科正之。不遇にも見える生い立ちの陰には、彼を思いやる多くの人々がいた。江戸城の外で育った「将軍の子」は、いかにして稀代の名君と呼ばれるに至ったのか。今もっとも注目される歴史時代小説の新鋭が、その半生を辿る。著者は福島県生まれ。



児童書

■だれでもおんど サトウマサノリ：作・絵 （パイインターナショナル）

夕暮れの森で、生き物たちが太鼓にあわせて歌っています。地中での暮らしを終え、仲間に会えた喜びを歌うセミ。おしゃれな名前と呼ばれたいと嘆くデブスナネズミ。小さな生き物の声に耳をすましてみませんか？読み聞かせで盛り上がる、歌って踊れる絵本。相馬市生まれの作家です。

掲示板

図生涯学習課 ☎ 582-3129

■自分の体力を知ろう！ 『スポーツテスト』

スポーツの秋が始まりました。皆さん、運動していますか？

自分の基礎体力を確認し、今後の健康管理に役立ててもらうため、毎年恒例のスポーツテストを行います。

今年はさらに「インボディ」測定を導入し、体の筋肉量や脂肪量などを調べられる特別コーナーもご用意しています。

当日は、ふれあい公園で「バーガーサミット」も開催中です。ハンバーガーを食べたらぜひ測定しに来てくださいね！

日時 10月13日（日） 10:00～

場所 町民体育館

主催 桑折町スポーツ協会

実施種目
・握力
・上体起こし
・長座体前屈
・64歳以下：立ち幅跳び
・65歳以上：開眼片足立ち

総合判定 測定に参加された人には、総合判定結果表と記念品を差し上げます。



INVITING COMMUNITY
ZONE FOR EVERYONE

生涯学習だより

前期の活動を紹介します 高齢者大学「かやのき学園」

高齢者大学「かやのき学園」では、学習テーマを「楽しく学ぶ『であい ふれあい まなびあい』」と設定し、定期的に全体学習会を実施しています。代表的なものとして、6月には移動学習で福島市内を巡りました。日本銀行福島支店・小倉邸（旧日本銀行福島支店長宅）を見学し、摺上川ダムでその役割や重要性について学びました。また7月には、みんなで歌おう「懐かしい日本の歌」として、ニューアンサンブル四季の皆さんの生演奏で、「瀬戸の花嫁」などの歌謡曲や「朝はどこから」などの唱歌を歌い、最後に「ふるさと」を全員で合唱し、心地よいひとときを過ごしました。

今後は、宮城県仙台市への遠足学習のほか、4つの地区ごとに、映画鑑賞やニュースポーツ、料理教室、笑いヨガなど、地区の特色を生かした学習を行っていきます。

西根堰ノルディックウォーキング2019

選奨土木遺産西根堰に沿ったコースを歩いて、健康づくりと歴史の魅力を再発見しましょう！

◆日 程 11月9日（土） 雨天決行
9:00～14:00（受付8:15～）

◆会 場 メイン会場：桑折町ふれあい公園
【Aコース：11km（チャレンジ）】
ふれあい公園＝バス移動＝大木戸ふれあいセンター→西根上堰→観月台公園・文化センター→西根上堰→ふれあい公園
【Bコース：5km（ゆったり）】
ふれあい公園＝バス移動＝観月台公園・文化センター→西根上堰→ふれあい公園

◆定 員 150人（受付先着順）
◆参加料 2,000円（記念品・昼食・保険料含）
※ポールレンタル料 別途300円（事前予約制）
☆終了後には、豚汁の振る舞いや豪華景品がもらえるじゃんけん大会もあります！

ライフキネティック教室

脳トレと運動を組み合わせた脳活性化プログラム「ライフキネティック教室」が8月8日と22日、「イコーゼ！」で行われました。

公認トレーナーの大内克泰先生に教わりながら、お手玉やボールを使って、脳トレのほか「視覚機能」や「認知機能」の改善プログラムを行いました。頭で分かっているけど体が動かない！頭がスッキリした！など脳への刺激がしっかり伝わり、終始笑いが絶えない教室となりました。



マルベリーこおり



☎ 582-3129 図マルベリーこおり事務局



初戦突破…ならず 県軟式野球大会

市町村対抗福島県軟式野球大会が9月7日、郡山市の開成山球場で行われました。

本町のチームは、富岡町と対戦しました。試合は、1回、2回と先発の菊田投手が0点に抑える好調なスタート。しかし、3回につかまり一気に4点を先制されました。4回に1点をかえしましたが、その後、追加点を許し、1対9で敗退しました。

残念ながら、初戦突破はかないませんでした。観客席からは拍手がわき起こり、選手たちの健闘をたたえました。



町産のそばを味わう そば打ち体験

成人講座「そば打ち体験」が9月3日、8日、桑折公民館で行われ、16人が参加しました。

半田銀山そばの会の皆さんから、桑折町で採れた「銀そば」を使った二八そばの打ち方を教わりました。水分の調整や道具の扱い方に悪戦苦闘しながらも、それぞれ5人分のそばの完成。最後は打ちたてのそばを試食しました。太さや長さはふぞろいでしたが、打ちたて・ゆでたてのそばは、つやつやとしてのど越しも抜群。地元産のそばをたっぷり味わいました。



盛大に開催 秋季町民ゴルフ大会

第62回秋季こおり町民ゴルフ大会が9月1日、伊達市のパーシモンカントリークラブで95人の参加者により盛大に開かれました。

結果は次のとおりです。

【総合順位】		ネット
優 勝	花井宣明さん	69.6
準優勝	蓬田勝徳さん	69.8
第3位	小野真一さん	71.2
【女子の部】		
優 勝	渡邊美恵子さん	75.6
準優勝	佐々木三枝子さん	77.4



地元だより Jimoto tsushin.

桑折町ソフトボールチームより

市町村対抗福島県大会に出場します！



しっかり練習して、チームワークで戦ってきます！
応援よろしくお願いします！

市町村対抗県ソフトボール大会は、10月12日から相馬市の相馬光陽ソフトボール場で開催されます。本町のチームは、12日午後2時30分から棚倉町と対戦します。
【監督】羽根田太陽【コーチ】松野浩基、塩谷靖夫
【スコアラー】大戸靖【マネージャー】岡田和人
【主将】齋藤聡【投手】塩谷昌之、佐藤清隆、松野正明、片平雅也、羽根田太陽【捕手】佐藤剛志、浅野大斗、鈴木悠輔【内野手】幕田修司、永浦芳則、角館倫明、菅野大斗、武田貴裕、蓬田史徳、遠藤克己、幕田哲也、吾妻和幸、横沢亮【外野手】半沢博之、石井孝多郎、吾妻淳、菅野真央、佐藤駿斗、佐藤真市（敬称略）

koorinstagram



♡ 216

まもなく収穫！
黄金色のじゅうたん
#稲穂 #田んぼ #収穫
#黄金の輝き #半田沼
#mykooritown
#愛する桑折
#ドローン撮影

職場探訪記

Workplace visit diary.

まもなく収穫の時期—

(有)氏家米穀店

(本町 60 ☎ 582-3147)

創業80年、生産地にこだわり、おいしいご飯の代名詞「銀しゃり」を全国の皆さんにお届けし続けています。

店先で通る人を楽しませている「小さな田んぼ」。1年を通して、稲の生育具合を感じてもらうだけでなく、都会のお客さんに精米を送る際に、この稲を1本、箱の中に添えています。「都会の人は米がどのように収穫されるのか分からない人もいる。生産地の情景を想像してもらうきっかけになったらうれしい」と店主のあたたかい心遣いが感じられる米穀店です。



店舗前のプランターに
植えられた稲がお出迎え

こおりスマイル

You have a good smile.



藤倉 遥陽くん
はるくん

はるくん、大〜好きっっ♡
ココ姉、イロ姉より♡



小林 涼太くん
りょうたくん

お兄ちゃんと仲良く遊んでね！
ママより♡



蓬田 大祐くん
だいすけくん

明るく元気に育ってね！
ママより♡

町民の皆さんの笑顔の写真を募集します。年齢は問わず、赤ちゃんから学生さん、大人の方まで大歓迎！
①最近撮影した写真 ②氏名（ふりがな）・性別 ③メッセージ（20字程度）を記入して応募してください。
【応募先】総合政策課 ☐seisaku@town.koori.fukushima.jp 右QRコードから簡単にメール送信できます。



45歳未満対象

若者の皆さんの「こおり暮らし」応援します！

新婚世帯の家賃をサポート！

対象 町内の賃貸住宅に同居する新婚の人
申請者本人または配偶者が45歳未満

月額上限 10,000円（最長2年間支給）

マイホーム費用をサポート！

対象 町内に住宅を新規取得またはリフォームを行い
入居された人、申請者または配偶者が45歳未満

最大助成 60万円 ★県外移住者は、最大60万円加算！

詳しくは ▶▶▶ 総合政策課 移住定住係 ☎ 582-2115（平日 8:30～17:15）

〔認知症対応型 共同生活介護〕 グループホーム クローバー

お部屋が空きました

広告掲載の時点で、満室になる場合がございますのでお早めにご連絡下さい。

ホームページをご覧ください。
<http://www.clover-kaigo.com/>

グループホームクローバー こおり
〒969-1651 福島県伊達郡桑折町大字万正寺字弁天水12
tel 024-529-7890 介護事業者番号 0792000010 広告

スタッフ
同時募集中！



JYUNKO
OTSUKI

15年前から趣味で絵手紙を描いている大槻さん。短い文と絵に思いを込めて、遠くに住む姉や絵手紙仲間との文通を続けています。

こおり暮らし

「食改さん」と呼ばれて4年――

食事の大切さを広めていきたい

大槻 純子^{じゅんこ}さん（伊達崎）

町の食生活改善推進員を務める、大槻さん。仕事を定年退職した後「少しでも社会に貢献できれば」と活動を始めました。

委員の活動は、主に町の健康料理教室で、毎回テーマに合わせた食事を作ること。子連れのお母さんには「簡単にできる離乳食」、高齢者には「減塩料理や野菜を多く含む献立」など、世代に合わせて、食事の大切さや楽しさを伝えていきます。大槻さん自身も「参加する度に知識がつき、食事の大切さを再確認できる」と学びの場にもなっています。「家族の健康は、わたしが作る食事によってつくられていくから」と、料理教室で学んだメニューを家でもおさらいし、レパートリーを増やしています。

ほかに、趣味で続けてきた「絵手紙」を子どもたちに教えるボランティアを始めたたり、半田山のシラネアオイを守る「半田山愛草会」にも所属している大槻さん。「小さなことでも、人の役に立てることが自分の喜びなんです。仕事は退職したけれど、まだまだがんばります」と目を輝かせていました。

【今月の表紙】

本格的な甲冑を身にまとい、気分はまるで戦国武将。桑折西山城の本丸整備が終わり、復元祭が開かれました。著名研究者に学ぶ歴史トークのほか、和心を感じるお点前やお囃子の音色、城跡から望む景色に、五感で戦国時代を感じました▼月見の宴では、手が届きそうなほど近くに満月と満天の星が。空の上にいる先人たちと時空を超えて共に過ごしたかのような秋宵のひと時でした(愛莉)

◆人口（前月比）9月1日付

人口 ※住民基本台帳 外国人含む	計	11,772人	(-4)
	男	5,619人	(+1)
	女	6,153人	(-5)
世帯数		4,604世帯	(+9)
転入	28人	出生	3人
転出	15人	死亡	20人

◆今月の納税

- ・町県民税（普通徴収3期）
- ・国民健康保険税（普通徴収4期）
- ・介護保険料（普通徴収4期）
- ・後期高齢者医療保険料（普通徴収3期）

期限 **10月31日** 木

◆住民票・戸籍・印鑑・税証明窓口延長（毎週木曜日、午後7時まで）

※**当日午後5時**までに税務住民課（☎582-2114）へ予約。祝日除く。